

アビリンピックにいがた フラワーアレンジメント競技課題作成手順書

目的：フラワーアレンジメントの創造力・技術を競う

課題：以下の2つ

1. ラウンド型花束（競技時間 45 分）

サイズ：直径 30 ± 2 cm・高さ結束部より 20 ± 2 cm

ステムの長さ結束部より 14 cm ± 2 、テーブルに自立する

◆フラワー

- ・花（バラ、トルコギキョウ、カーネーション、カスミ草、ミリオンなど）
- ・グリーン（レザーファンなど）

◆資材

- ・フラワーベース（花瓶）
- ・結束紐

【手順】

①最初に材料を用意します。フラワー・資材を作業机の上に並べます。



②フラワーを手で束ねられるよう、下処理します。

・花は長さを測り、切りそろえます。茎を切る時は、断面積が大きくなり水を吸収しやすくなるので、斜めに切るようにします。持ちやすいよう、不要なトゲ・葉などは取っておきます。グリーンも同じように準備をします。

③下処理した花は、種類・長さごとにまとめて置きます。紐は使う長さに切っておきます。



④花・グリーンを選び束ねていきます。



花を持つところが、後から紐で束ねるところになります。にぎり手の位置が上下しないように、中心から周りの部分へ同心円状に花を追加していきます。挿していく方向は右回りか左回りかどちらかに統一します。

⑤花・グリーンを追加していきます。位置がずれないように、しっかり握ります。



⑥追加するときには、手に持ったところを中心に、上下左右が斜めになるように入れて



いきます。これをスパイラルテクニックといいます。

上から見て丸い形、横から見て半円形になるよう心がける。

⑦規定の大きさになるよう、ときどき長さを確認します。



⑧さらに追加していきます。



- ⑨挿し終わったら、手で握っていた部分を紐でしばります。花がゆるんでずれないように、横方向に固結びしてしっかりしばります。



- ⑩紐で固定した花を、規定の高さに合わせて、茎を切りそろえていきます。



⑪茎を切ったとき、このように支えがなくても真っすぐに立つようにします。



⑫フラワーベースにいれて完成です。作成し終わったら、作業机はきれいに掃除します。



2. 食卓テーブル装飾（ラウンド型 競技時間 60 分）

サイズ：直径 40 ± 2 cm ・ 高さ 20 ± 2 cm

◆フラワー

- ・ 花（バラ、トルコギキョウ、カーネーション、カスミ草など）
- ・ グリーン（レザーファンなど）

◆資材

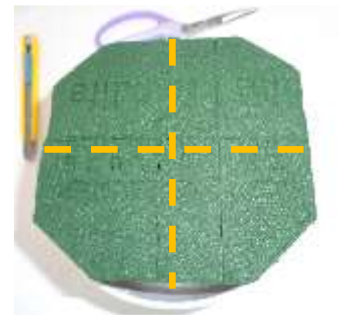
- ・ フLOWERベース（花器）
- ・ 吸水スポンジ

【手順】

①水につけてある吸水スポンジをフラワーベースにセットします。

四角い吸水スポンジを、動かないようにフラワーベースにしっかりと押し入れ、はみ出した部分は、フラワーベースの形に合わせてカッターで角をとります。

次に定規で縦と横をそれぞれ二等分するように測り、カッターで十字線を入れます。



②フラワー・グリーンを課題 1 と同じように下処理し、作業机の上に並べます。





底面の周辺6カ所と頂点の計7ヶ所に、花を挿します。

（左）

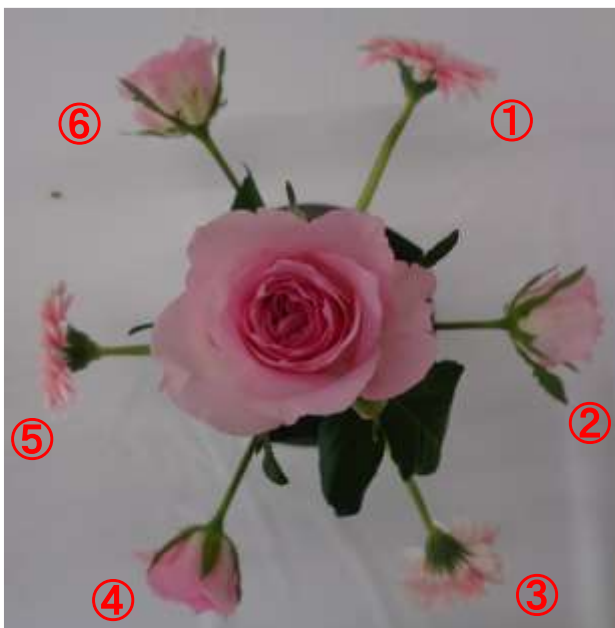
③線が交差するスポンジの真ん中にドーム型で一番高くなる花を真っ直ぐ挿し、頂点を作ります。

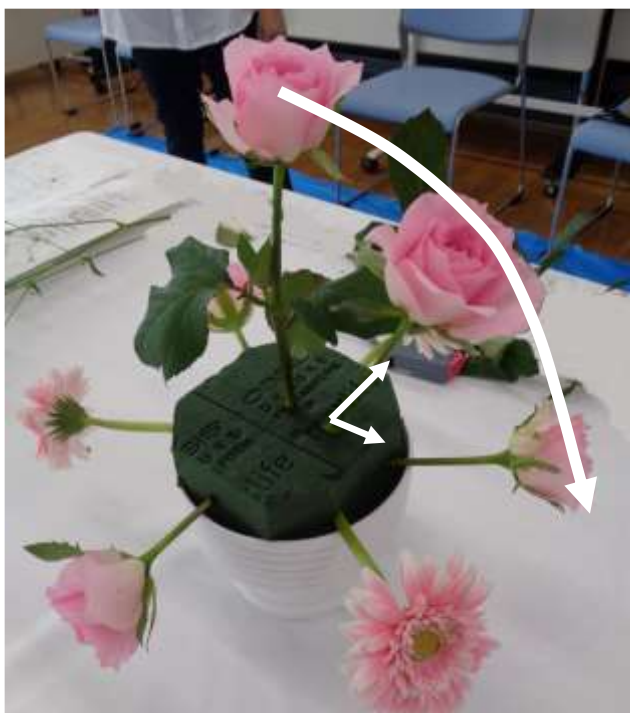
この花はフォーカルポイント（作品の中で目を引く注目点）となりますので、茎がまっすぐで花の形のよいフラワーを選びましょう。

（下）

④次に底面に、花をつなげると丸くなるように、6本花を挿します。全てスポンジの中心から同じ半径になるようにします。

この7ヶ所の長さ・高さが課題の大きさを決めますので、大きさは正確に確認しましょう。

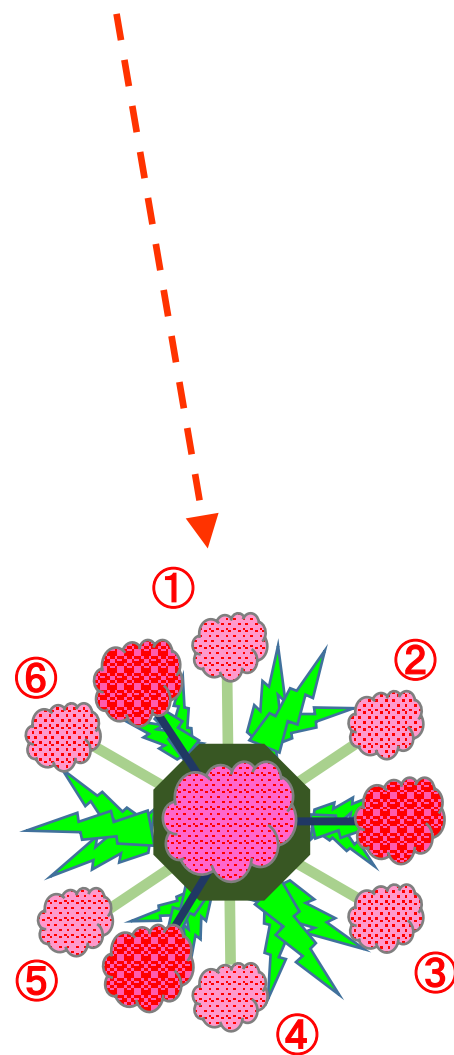




その頂点を繋ぐように花を追加していきます。

④頂点のフォーカルポイントの花の周りに、花を3本追加します（写真は1本）。横から見ると60度の角度で、上から見ると底辺の6本の花の間を埋めるように挿します。

⑤底辺の6本の花の間にもグリーンを追加します。



⑥頂点の花の周りにそわせるようにグリーンを挿し、スポンジが隠れるようにします。



フラワーベースも回して見たり、上・横・斜め、
いろんな方向・角度から観察しましょう。

⑦挿した花の頂点を、ゆるくつないだ曲線を意識
しましょう。その線からはみ出したりへこんだり
しないように、花・グリーンを挿していきます。
スポンジは完全にかくれるように花・グリーンで
埋めます。



⑧完成です。

